

5月分

## 「シキを呼ぶ魔法の言葉」

5月1日

(たぐい)数年前に金持さになる本が爆発的に売れた時期がありました。今でもこの類の本はある程度売れているようです。私が読んだのは、「金持さん貧乏さん」「ユダヤ人大富豪の教え(本田健)」等です。私はこれらの本を読んで、この本を読んで金持さになる人はほとんどいないと思いました。特にこの本を読んで不動産を買った人は今は大失敗で借金で苦んでいます。またいくつかの会社を経営しオーナーとして君臨してお金に働きせて、自分は仕事を他人に任せ、家族中心の生活をしてる人もかなりのことはあります。本当に金持さになるのは、本の作者だけではないでしょうか。ほとんどの人にできることが書いてあるのです。特に不動産を買って金持さになる方法は日本では絶対やてはいけないございました。地価、税制が当時のアメリカと全然違いました。これらの類の本は、自分で読むのはよいか、人様に自信を持って勧めることはできません。それは、この本の趣旨を理解しないで、成功して働きながら生活できる人を夢みる人が出でては困ると思ったからです。ビジネスで若くして成功してリタイア生活を送るのは、アメリカ的なお金中心主義で日本人にはない考え方であると思ってます。ビジネスの才能のある人は、神様から与えられた能力を十二分に使って、より多くの人を幸せにするためにもっともっと働くべきだと思っています。

五日市剛さんの「シキを呼ぶ魔法の言葉」この本は今70万部売っています。毎日10万部超えて出ているそうです。この本は本屋さんには置いてありません。全て人が一人への口込みで紹介されています。私もこの本を読み感動し、全社員に配り、家族、友人、お客様にも配り、千冊以上は購入しています。何故この本がよいか「人を幸せにするか」と「どうした人が読んで贈ってくれた人に感謝してくれるか」この確率が高ります。うちの事務所の女子社員がこの本を家族に読んでもらったり、妹さんが学校に持つて、友達に貸して、その友達のお母さんが読み感動し、当事務所に千葉県産の落花生を送ってくれたことがありました。

4月15日に新潟の鈴木タカヨシ様で五日市さんの講演を聴く機会に恵まれました。本は何回も読んでいたので、本に書いてないところで印象に残ったことは、自分の人生を大きく変えようとするなり、小さな習慣を変えること。特に言葉、心で思うことはキャラクルされるが、言葉を発したりアウト。言ってはいけない言葉、汚い言葉は言ったり、宇宙に刻印されて、何回転もして成長して友達をつめてくる。ある学校で実験をした。果物を入れたコップを3つ用意し、一つには毎日ありがとう、感謝しますという言葉、一つには、バカ、テメエという悪い言葉、一つは完全に無視した。2週間後一番腐っていたのは、無視したコップでした。ありがとうと言っていたコップの果物はほとんど腐っていました。当然悪い言葉を言ったコップも、腐っていました。私達にとって、より多くの人に幸せになっていたくために、まずは学ぶ、学んだことをしゃべる、そして行動する。誰にでもできることを伝えて行く。私達にできることは、(1)汚い言葉は使わない。(2)ありがとうございます、感謝しますを連発する、こういう小さなよい習慣を身につけることはないでしょうか。

吉田土満